

注3

大学番号：041

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

信州大学大学院 医学系研究科
医学系専攻・疾患予防医科学系専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 藤原詩穂

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kkikaku-kikaku@shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	7
3	施設・設備の整備状況, 経費	12
4	既設大学等の状況	13
5	教員組織の状況	15
6	留意事項に対する履行状況等	17
7	その他全般的事項	18

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 医学系専攻 (博士課程) 博士(医学)	4年	40人	160人	基礎となる学部等 医学部医学科
医学系研究科 疾患予防医科学系専攻 (博士課程) 博士(医学)	4	8	32	なし

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

医学系専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 () []										1.10倍	
志願者数	45 (43) [2]	() []										
受験者数	45 (43) [2]	() []										
合格者数	45 (43) [2]	() []										
B 入学者数	44 (42) [2]	() []										
入学定員超過率 B/A	1.10											

疾患予防医科学系専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 8 (-) [-]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.00倍	
志願者数	8 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	8 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	8 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	8 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00											

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

医学系専攻

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 44	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
4年次	/				[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
計			[2] 44	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

疾患予防医科学系専攻

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 8	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
4年次	/				[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
計			[3] 8	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

医学系専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	44 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		%
合 計	44 人	0 人					%

疾患予防医科学系専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	8 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		%
合 計	8 人	0 人					%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
　・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

2 授業科目の概要

<大学院医学系研究科>

(1) 授業科目表

医学系専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目Ⅰ	形態学研究方法特論	1・2前		2			1	2	1				担当教員の見直しのため(24)
	免疫学研究方法特論	1・2前		2				3	1	1			
	生化学・分子生物学研究方法特論	1・2前		2			+						担当教員の見直しのため(24)
	人類遺伝学研究方法特論	1・2後前		2			1	2	1	2			教育効果の向上を図るため(24)
	組織・器官機能研究方法特論	1・2前		2			2						
	神経科学研究方法特論	1・2前		2									
共通研究科Ⅱ	腫瘍学研究方法特論	1・2後前		2			+	2	1		1		教育効果の向上及び教育内容の充実を図るため(24)
	医科学研究遂行特論	1・2前	2				2	3	1				教育内容の充実を図るため(24)
	実用医用統計学特論	1・2前	2				1						
講座・分野別開設科目	生命倫理学	1・2前	2				1						
	臨床解剖学	1・2通		2			1	1			2		教育内容の充実を図るため(24)
	発生学	1・2通		4			1	1			2		
	微細形態学	1・2通		2			1	1			2		
	細胞生物学	1・2通		4			1	1			2		
	神経解剖学	1・2通		6							1		
	神経発生・再生学	1・2通		6					1		+		昇進のため(24)
	病理解剖学	1・2通		2			1	+			1		採用及び担当教員の見直しのため(24)
	病理組織学	1・2通		2			1	+			1		採用及び担当教員の見直しのため(24)
	実験病理学	1・2通		2			1	+					採用及び担当教員の見直しのため(24)
	腫瘍病理学	1・2通		2			1				1		採用及び担当教員の見直しのため(24)
	外科病理学	1・2通		4			1	+			1		採用及び担当教員の見直しのため(24)
	細胞・分子生理学	1・2通		4			1	1					
	器官制御生理学	1・2通		4			1	1					
	器官病態生理学	1・2通		4			1	1					
	一般生理学	1・2通		4			1						
	調節統御系の生理学	1・2通		4			1						
	病態生理学	1・2通		2			1						
	応用生理学	1・2通		2			1						
	実験薬理学	1・2通		4			1						
	臨床薬理学	1・2通		2			2						
	毒物学	1・2通		2			1						
	臨床薬剤学	1・2通		2			1	1					
	臨床薬物動態学	1・2通		2			1	1					
	細菌学	1・2通		6			1						
	ウイルス学	1・2通		6			1						
	生化学特論	1・2通		4			1	1					
	物質代謝	1・2通		4			1	1					
	分子生物学	1・2通		4			1	1					
	内科学汎論(1)	1・2通		2			1	2	1	1			教育内容の充実を図るため(24)
	内科学特論(1)	1・2通		2			1	2	1	2			教育内容の充実を図るため(24)
	内科診断学(1)	1・2通		4			1	2	1	3			教育内容の充実を図るため(24)
内科治療学(1)	1・2通		4			1	2	1	3			教育内容の充実を図るため(24)	
内科学汎論(2)	1・2通		4			1	2	1	1			担当教員の見直しのため(24)	
内科治療学(2)	1・2通		4			1	3	1					
内科診断学(2)	1・2通		4			1	3	1					
内科学	1・2通		3			1							
神経内科学	1・2通		4			1	1						
神経内科診断学	1・2通		3				1	+		1		昇進のため(24)	
神経内科治療学	1・2通		2				+		1			担当教員の見直しのため(24)	
加齢代謝内分分泌学	1・2通		4			1	1						
代謝内分分泌制御論理学	1・2通		2			1							
加齢代謝内分分泌実践学	1・2通		4			1							

加齢心血管内分泌代謝学汎論	1・2通		2			1					
小児医学汎論	1・2通		3		1	1	+	1		担当教員の見直しのため(24)	
小児血液・腫瘍学	1・2通		3		1		+		1	担当教員の見直しのため(24)	
小児免疫・アレルギー学	1・2通		2		1						
小児発達神経学	1・2通		2		1	1	+			昇進のため(24)	
遺伝学的病態論	1・2通		2		1		+			担当教員の見直しのため(24)	
皮膚科学	1・2通		6		1	1	1			教育内容の充実を図るため(24)	
皮膚・粘膜感染症学	1・2通		2		1	1	1			教育内容の充実を図るため(24)	
皮膚病理組織診断学	1・2通		4		1	1	1			教育内容の充実を図るため(24)	
放射線診断学	1・2通		4		1	1					
放射線治療学	1・2通		2						1		
放射線生物学	1・2通		2		1						
放射線物理学	1・2通		2					+	1	担当教員の見直しのため(24)	
核医学	1・2通		2			1					
外科学(1)	1・2通		6		1	3					
外科学特論(1)	1・2通		6		1	3					
外科学(2)	1・2通		6		1	2					
外科学特論(2)	1・2通		6		1	2					
産科学	1・2通		4								
婦人科学	1・2通		4					1	1	担当教員の見直しのため(24)	
内分泌学	1・2通		4		1						
泌尿器科学特論	1・2通		4		1	1				教育内容の充実を図るため(24)	
泌尿器科腫瘍学	1・2通		4		1		1				
泌尿器科手術学	1・2通		4		1	1	1				
脊椎外科学系整形外科学	1・2通		2					1		担当教員の見直しのため(24)	
神経・筋系整形外科学	1・2通		4					+		担当教員の見直しのため(24)	
骨関節系整形外科学	1・2通		4		1	2					
リハビリテーション医学	1・2通		2			1					
形成再建外科学特論	1・2通		8		1						
熱傷学	1・2通		4		1						
口腔外科学特論	1・2通		3				+	+	1	昇進及び担当教員の見直しのため(24)	
口腔外科手術学	1・2通		3				1	+	+	1	昇進及び担当教員の見直しのため(24)
人工材料学	1・2通		2		1			+		昇進のため(24)	
口腔腫瘍学	1・2通		2		1			+		昇進のため(24)	
咬合学	1・2通		2		1			+		昇進のため(24)	
麻酔科学概論	1・2通		4		1						
麻酔と臓器	1・2通		2		1				+	担当教員の見直しのため(24)	
麻酔と循環	1・2通		2						1		
疼痛治療学	1・2通		2			1					
麻酔と中枢神経	1・2通		2		1						
精神医学汎論	1・2通		4		1	2					
精神医学診断学	1・2通		2		1	2					
精神科治療学	1・2通		4		1	2					
医学の心理学	1・2通		2		1	2					
脳神経外科特論	1・2通		4		1						
脳卒中外科学	1・2通		4		1	1		2		担当教員の見直しのため(24)	
脳腫瘍学	1・2通		4		1			2	1	1	担当教員の見直しのため(24)
眼生理学	1・2通		3		1						
眼生化学	1・2通		2		1						
眼病理学	1・2通		3		1						
眼科診断治療学	1・2通		4		1						
耳鼻咽喉科学	1・2通		4		1	1					
分子遺伝学	1・2通		2		1						
宇宙医学	1・2通		2		1	1					
神経耳科学	1・2通		2		1	1					
聴覚医学	1・2通		2		1	1					
予防医学概論	1・2通		6		1						
遺伝医学	1・2通		6		1		+	2	1	2	教育内容の充実を図るため(24)
環境・産業医学	1・2通		6		1						
疫学	1・2通		3		1						
公衆衛生学	1・2通		3		1						
地域医療情報学	1・2通		6			1					
医学情報教育学概論	1・2通		3			1					
高次脳機能学	1・2通		3		1						
診断病理学	1・2通		4					+	1	担当教員の見直しのため(24)	

	臨床化学	1・2通		2		1														
	臨床生理学	1・2通		2		1														
	臨床血液学	1・2通		2				1												
	遺伝子診断学	1・2通		2						1										
	法医学総論	1・2通		3		1														
	法医学各論	1・2通		3		1														
	法医学血液型学	1・2通		3				1												
	法医学遺伝子学	1・2通		3				1												
	救急医学	1・2通		5		1														
	集中治療医学	1・2通		5		1														
	災害医学	1・2通		2		1														
	神経難病治療学	1・2通		4		+														担当教員の見直しのため(24)
	神経病理学特論	1・2通		8		+														担当教員の見直しのため(24)
	移植感染症学	1・2通		2 4				1		1										教育内容の充実を図るため(24)
	日和見感染症学	1・2通		4 2				1		1										教育内容の見直しと充実を図るため(24)
	分子生体防御学	1・2通		4		1		1												
	移植免疫学	1・2通		2 4		1		1												教育内容の充実を図るため(24)
	移植病態学	1・2通		4		3		1												
	臓器・細胞再生工学	1・2通		4		1				2		1								教育内容の充実を図るため(24)
	臓器微小循環学	1・2通		4		+		1		1										担当教員の見直しのため(24)
	研究特論	1・2通	8					34 36		26 22		3 9		5 11						教育内容の充実を図るため(24)

疾患予防医科学系専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
研究科共通科目Ⅰ	形態学研究方法特論	1・2前		2			1													
	免疫学研究方法特論	1・2前		2					1											教育内容の充実を図るため(24)
	生化学・分子生物学研究方法特論	1・2前		2			2		1											教育内容の充実を図るため(24)
	人類遺伝学研究方法特論	1・2後前		2			1		1											教育効果の向上を図るため(24)
	組織・器官機能研究方法特論	1・2前		2			1													
	神経科学研究方法特論	1・2前		2			1		1				1							
	腫瘍学研究方法特論	1・2後前		2			1													教育効果の向上を図るため(24)
共通科目Ⅱ	医科学研究遂行特論	1・2前	2																	
	実用医用統計学特論	1・2前	2																	
専攻科目	共通 'からだどこころの生涯健康学	1・2後	2																	
	分子加齢生物学	1・2後		4			1		1											
	分子神経可塑性学	1・2後		4			1		1											
	分子腫瘍学	1・2後		4			1		1											
	分子病理学	1・2後		4			1				1									
	細胞制御学	1・2後		2																
	細胞制御学	1・2後		2																
	分子細胞制御学研究特論	1・2通	8				4		3		1									
	個体循環病態学	1・2後		4			1		1											
	個体発達障害制御学	1・2後		2																
	機能ゲノム疾患学	1・2後		2																
	代謝制御学	1・2後		4			1		1											
	制御スポーツ医科学	1・2後		4			1													
	制御予防医学	1・2後		2																
	学 個体機能制御学研究特論	1・2通	8				3		2											
	健康健康教育心理学	1・2後		4			+	2		+										昇進のため(24)
	健康老化制御学	1・2後		4			2													担当教員の見直しのため(24)
	促進情報工学	1・2後		2																
	進 応用食糧学	1・2後		2																
	学 健康促進学研究特論	1・2通	8				3 2		+											昇進及び担当教員の見直しのため(24)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

医学系専攻

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 134	科目 0	科目 138	科目 4 [0]	科目 134 [0]	科目 0 [0]	科目 138 [0]	

疾患予防医科学系専攻

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 23	科目 0	科目 30	科目 7 [0]	科目 23 [0]	科目 0 [0]	科目 30 [0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)	
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
	m ² (m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成24年4月 専任教員1名を新規採用のため(24)	
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		〇〇学部	([])	([])	([])	()	()
	計	([])	([])	([])	()	()	()
		([])	([])	([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年 次 人	人		倍			
人文学部						1.07	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
人間情報学科	4	80	35	330	学士(文学)	1.03	平成7年度		
文化コミュニケーション学科	4	75	35	310	〃	1.11	〃		
教育学部						1.02	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口	
学校教育教員養成課程	4	220		880	学士(教育学)	1.02	平成11年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	〃	1.05	〃		
生涯スポーツ課程	4	25		100	〃	1.08	〃		
教育カウンセリング課程	4	15		60	〃	1.00	〃		
経済学部						1.03	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
経済学科	4	125	320	540	学士(経済学)	1.03	〃		
経済システム法学科	4	60	310	260	〃	1.04	平成7年度		
理学部						1.00	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.00	平成7年度		
物理科学科	4	35		140	〃	1.05	〃		
化学科	4	35		140	〃	1.02	〃		
地質科学科	4	30		120	〃	1.00	〃		
生物科学科	4	30		120	〃	1.00	〃		
物質循環学科	4	25		100	〃	1.12	〃		
各学科共通			310	20		0.50			
医学部						1.00	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
医学科	6	115		633	学士(医学)	0.99	昭和26年度		
保健学科	4	143	317	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.01	平成14年度		
工学部						1.07	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度より学生募集停止
機械システム工学科	4	80	333	326	学士(工学)	1.04	平成10年度		
電気電子工学科	4	95	333	386	〃	1.07	平成元年度		
社会開発工学科	4	—		—	〃	—	〃		
土木工学科	4	45	322	184	〃	1.04	平成20年度		
建築学科	4	50	323	204	〃	1.11	〃		
物質工学科	4	60	333	246	〃	1.04	平成10年度		
情報工学科	4	90	353	370	〃	1.05	平成元年度		
環境機能工学科	4	50	322	204	〃	1.19	平成10年度		

大学の名称	信州大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
農学部						1.01	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.00	平成9年度	
森林科学科	4	61		244	"	1.00	"	
応用生命科学科	4	52		208	"	1.05	"	
各学科共通			310	20		0.90		
繊維学部						1.03	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号
応用生物科学科	4	—		—	学士(農学)	—	昭和60年度	平成20年度より学生募集停止
繊維システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成7年度	
素材開発科学科	4	—		—	"	—	昭和63年度	"
機能機械学科	4	—		—	"	—	昭和61年度	"
精密素材工学科	4	—		—	"	—	昭和62年度	"
感性工学科	4	—		—	"	—	平成7年度	"
先進繊維工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.11	平成20年度	〔創造工学系〕 H24から系が変更になったため、H21～H23の定員超過率を記載した。
機能機械学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.05	"	
感性工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.17	"	
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	102	学士(工学)	1.01	"	〔応用生物学系〕 H24から系が変更になったため、H21～H23の定員超過率を記載した。
生物機能科学課程	4	25	31	102	学士(工学)		"	
生物資源・環境科学課程	4	25	31	102	学士(農学)	"	"	〔繊維・感性工学系〕
先進繊維工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.06	"	
感性工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.16	"	〔機械・ロボット学系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。 〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
機能機械学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.03	"	
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	102	学士(工学)		"	
応用化学課程	4	37	31	150	学士(工学)	1.03	"	〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
材料化学工学課程	4	37	31	150	学士(工学)		"	
機能高分子学課程	4	36	32	148	学士(工学)	"	"	〔応用生物学系〕 3年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
生物機能科学課程	4	25	31	102	学士(工学)	1.00	"	
生物資源・環境科学課程	4	25	31	102	学士(農学)		"	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<大学院医学系研究科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 24年 6月 1日)